

# 理工学研究所・研究開発機構研究発表会

Annual Joint Meeting of ISE and RDI of CHUO UNIV.

|         |  |   |
|---------|--|---|
| 日 時     | 2018年11月30日(金)                                     |   |
|         | 15:30~16:30<br>ポスター展示(自由見学)<br>*15:30~ Coffee Time | 16:30~18:00<br>ポスターセッション(発表者全員参加)<br>*17:00~ Light Meal |
| 共 催     | 中央大学理工学研究所・中央大学研究開発機構                              |   |
| 場 所     | 中央大学後楽園キャンパス 3号館 10階 大会議室(31008号室)                 |   |
| 発 表 方 法 | ポスター展示及びポスターセッションにより発表を行います。                       |   |
| 参 加     | 参加無料。ご自由にお入りください。                                  |   |
| 問 合 せ 先 | 中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602・1678 / FAX(03)3817-1677 |   |

|  |                                |
|--|--------------------------------|
| ◇17:00 ご挨拶<br>◆理工学研究所長 鎌倉 稔成<br>◆研究開発機構長 築山 修治 | ◇18:00 ご挨拶<br>◆理工学研究科委員長 檜山 和男 |
|--|--------------------------------|

## ● 共同研究第1類

|   | 研究代表者 | 所属 | 研究テーマ                             |
|---|-------|----|-----------------------------------|
| 1 | 片山 建二 | 応化 | ソフトマターの分子間相互作用伝搬の観測               |
| 2 | 芳賀 正明 | 応化 | エネルギー変換デバイスのためのナノ構造構築法の開発とその応用    |
| 3 | 福澤 信一 | 応化 | クリックケミストリーを用いる新奇インジゴ化合物の合成と機能化    |
| 4 | 船造 俊孝 | 応化 | 超臨界混合流体を用いたキラル吸着分離過程のモデル化とパラメータ決定 |
| 5 | 古田 直紀 | 応化 | 植物体内におけるミネラルアンタゴニズムによるストレス発現機構の解明 |
| 6 | 加藤 俊一 | 経工 | 感性ロボティクス環境による共生社会基盤技術の研究          |
| 7 | 箕浦 高子 | 生命 | チューブリン遺伝子破壊株による微小管機能の順遺伝学・逆遺伝学的研究 |
| 8 | 幡野 博之 | 人間 | 粉粒体利用健康維持装置の研究                    |

## ● 共同研究第2類

|    | 研究代表者 | 所属 | 研究テーマ                                   |
|----|-------|----|---|
| 9  | 中村 太郎 | 精密 | スマートデバイスを用いた拡張現実空間におけるハプティックインターフェースの開発 |
| 10 | 國井 康晴 | 電気 | 小型軽量移動システムのための跳躍型環境計測およびリスク許容           |
| 11 | 杉本 泰博 | 電気 | 長距離無線電力伝送システムの実現に向けた研究                  |
| 12 | 橋本 秀紀 | 電気 | モバイル機器を含むユビキタス電力網の構築および運用に関する研究         |
| 13 | 小松 晃之 | 応化 | 長期備蓄可能な人工酸素運搬体の開発と先進医療への応用              |

## ● プロジェクト研究

|    | 研究代表者 | 所属 | 研究テーマ  |
|----|-------|----|--|
| 14 | 山田 正  | 都市 | 気候変動による河川・水環境への影響解明と適応策に関する研究～ベトナム Cau 川を例として～ |

● 研究開発機構

|    | 研究代表者  | 研究テーマ   | ユニット責任者 |
|----|--------|---|---------|
| 1  | 檜山 爲次郎 | 含酸素エキソ環状ジエンの開発と縮合環状化合物の構築   | 石井 洋一   |
|    | 南 安規   |   |         |
| 2  | 秋山 哲男  | 超高齢社会における空港環境と生活交通に関する研究  | 鹿島 茂    |
|    | 丹羽 菜生  |   |         |
| 3  | 後藤 岳久  | 河川横断構造物からの排砂を促進する技術の開発と交互砂州河道の回復<br>～黒部川愛本堰堤を対象として～                             | 福岡 捷二   |
| 4  | 竹村 吉晴  | 非静水圧準三次元解析法(Q3D-FEBS)による波状跳水と完全跳水の解析  |         |
| 5  | 福田 朝生  | Euler-Lagrange カップリングによる大規模固液混相流解析のための並列計算法の開発                                  |         |
| 6  | 田端 幸輔  | 浸透流を支配する力学指標と堤防浸透破壊の力学的相似条件   |         |
| 7  | 立山 政樹  | 洪水流による河口砂州開口と河口テラスの発達に関する研究   |         |
| 8  | 松井 千尋  | データセンタにおける不揮発性メモリソースの自律最適化システム  | 竹内 健    |
| 9  | 小島 明寛  | 軸方向繊維強化型空気圧ゴム人工筋肉の長寿命化のための材料とアスペクト比の検討  | 中村 太郎   |
| 10 | 角田 篤泰  | AI 技術を用いた法的文書作成支援   | 福原 紀彦   |
| 11 | 辻井 重男  | 真贋の判定こそはモノ層から文化層まで貫く理念  |         |
| 12 | 山下 英也  | 流域を基盤とする「水・人間環境」の社会実装   | 石川 幹子   |
| 13 | 根岸 勇太  | 流域を基盤とする「水・人間環境」の社会実装   |         |
| 14 | 笠井 由紀  | セルフクリーニングを反復利用した代謝工学による単細胞性緑藻 <i>Coccomyxa</i> 属の脂質生産性改良                        | 小池 裕幸   |
| 15 | 伊藤 真理  | スマートフォン(PHR アプリ)や健康支援ポイントカードを活用した多職種連携による糖尿病重症化予防プロジェクトの試み:福島県いわき市 MEHICA プログラム | 大橋 靖雄   |

2017 年度に理工学研究所で行われた共同研究・プロジェクト研究および研究開発機構の研究発表です。RA研究発表会も同時開催いたします。お気軽に会場までお越し下さい。